

うちの学校

紹介しまあ!

その16

中田小学校



中田小学校は、神戸淡路鳴門自動車道津名一宮インター近くの高台にあります。1年生17名、2年生14名、3年生17名、4年生21名、5年生20名、6年生13名の合計102名の子どもたちが「なかよく、かしこくたくましく」を合言葉に学んでいます。校区は田園風景が広がりますが、大型店舗もあり学校下県道は交通量も多いので通学の安全には注意をしています。

本校では、校区の木村農園さんのご好意により、3年生が環境体験学習に出かけています。春は虫やメダカ採集、夏は飼育されています。



環境体験学習

る牛と触れ合い、有機農業について教えていただいています。冬を迎える時期には自然の営みと恵みを感じ、焼き芋や柿をいただいています。豊かな自然に触れ、これからも自分たちが生活しているふるさとを愛していただくことと思います。



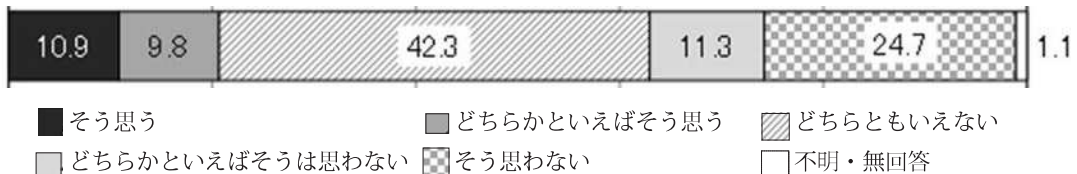
獅子頭を囲んで（昨年度）

また、人権教育としてジェンダー教育に取り組んでいます。昨年今年と「にじいろi・Ru（アイル）」の田中さん、近藤さんを招いて授業をしてもらいました。男の子だから女の子だからでなく、ありのままの自分を表現しても、それを自然に当たり前に受け止めてくれる仲間や集団をつくること、教育の原点であり、大切であると改めて思いました。

さて、昭和55年に津名町無形民俗文化財に指定された中田伊勢の森神社の春祭りに奉納されている「梯子獅子」を平成12年度から学校の学習発表会の演目に取り入れ、子どもたちは地域の方の指導で伝統文化を学び、練習を重ね、発表してきました。今は学習発表会の演目にはなっていませんが、3年生の社会科で地域の方をゲストティーチャーに迎え、地元の伝統文化に触れる機会を作っています。

次のような家族に関わるいろいろな見方や考え方について、あなたの考えに近いものをお答えください（SA）

男どうし、女どうしの結婚も認めるべきだ



4年前の人権意識調査ではセクシュアル・マイノリティについても調査をしています。

「男どうし、女どうしの結婚も認めるべきだ」という質問に対して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人は20.7%でした。同姓婚について2割程度の方が賛意を示しています。多いか少ないかは別にして多様な性のあり方を認めない制度・慣習・文化が幅広く存在しており、そのことを問題として捉える人も少数であることは否めないと思います。今、学校や社会には、セクシュアル・マイノリティがいるということを前提とした取り組みが求められています。

淡路市の「人権意識調査」から

シリーズ⑫

テーマ

セクシュアル・マイノリティ